

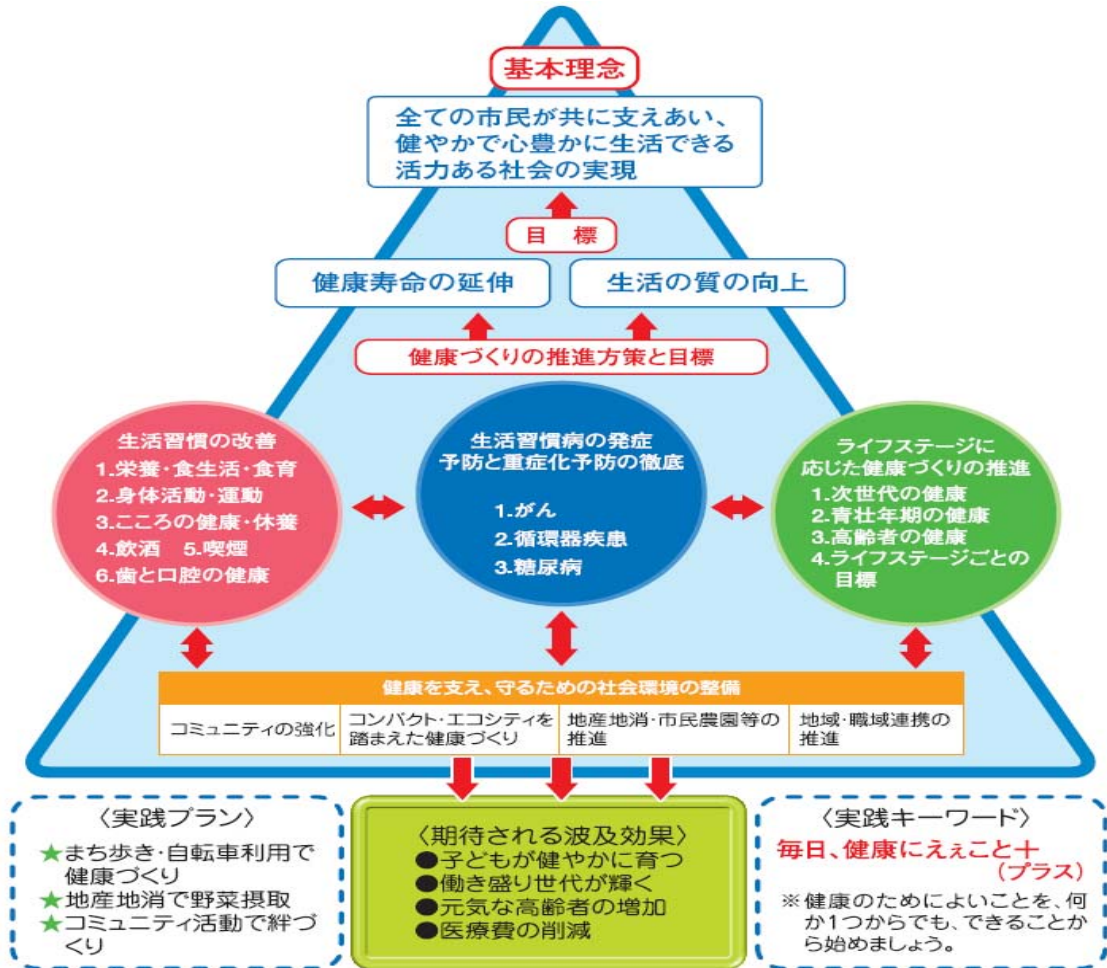
平成27年度高松市公開事業評価 事業シート																		
事務事業名		健康づくり推進事業				事業開始年度		平成20年度										
上位施策名		健やかに暮らすための健康づくり				担当局		健康福祉局										
根拠法令等		健康増進法、高松市健康都市推進ビジョン				担当課		保健センター										
実施の背景		高齢化の進行に伴い、寝たきりや認知症の方が増えるとともに、メタボリックシンドロームや糖尿病などの生活習慣病も増加している。今後、生活習慣病の増加に伴い、医療費や介護保険給付費の増加が予想される。																
目的 (どのような状態にしたいのか)		40歳以上の市民が、健やかで、こころ豊かに暮らすことができるように、生活習慣病の予防及び早期発見・早期治療の促進、寝たきり防止等のための、自主健康管理意識の啓発を行うとともに、健康教育・健康相談・健康診査による成人の健康づくり事業を実施し、壮年期の死亡の減少、健康寿命の延伸、生活の質の向上を図る。																
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	40歳以上の市民																
	実施方法	■直接実施 ■委託 ■補助金																
	事業内容 (手段、手法など)	<p>【健康教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康教室：生活習慣病予防や健康増進等、心身の健康に関する正しい知識の普及を図り、壮年期からの健康の保持・増進を目的に健康教室を実施する。 歯科健康教室：8020運動推進の一環として、歯周疾患等の歯科保健に関する正しい知識の普及・啓発を図る。 <p>【健康相談】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康相談：生活習慣病予防や健康増進等、心身の健康など健康の保持・増進を目的に、個別の健康相談を実施する。 歯科健康相談：歯の健康に関する必要な指導、助言を行い、家庭における歯の健康づくりを促す。 おとなのための歯科相談室：成人を対象に、歯科健診並びに歯周病予防及び義歯についての個別相談を実施する。 骨粗しょう症予防教室：骨粗しょう症に対する正しい知識の普及と予防対策を図る。 健康手帳の送付：健康診査の記録など自らの健康管理と適切な医療の確保に役立てていただくため、40歳の者に交付する。 <p>【健康診査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 肝炎ウイルス検診：40歳の受診者に節目検診を実施するとともに、節目以外の者に対しても、今まで肝炎ウイルス検査を受けたことが無い者等に検査を実施する。 健康診査・特定保健指導（40～74歳の医療保険未加入者）：メタボリックシンドロームに着目した健康診査で、内臓脂肪の蓄積を未然に把握することにより生活習慣病の予防を図る。 成人歯科健康診査：40、50、60、65、70および75歳の者を対象に歯科健診を歯科医療機関で実施する。 																
	関連事業 (同一目的事務事業等)	<ul style="list-style-type: none"> がん対策推進事業 特定保健指導 精神保健啓発事業 難病患者地域支援ネットワーク事業 地域食育推進事業 介護予防事業 母子保健事業 																
コスト			27年度（予算）		26年度（決算）		25年度（決算）		24年度（決算）									
	事業費合計		67,533	千円	63,431	千円	59,962	千円	53,815	千円								
	事業費内訳 (平成26年度分)		健康教育 8,184千円 健康相談 7,008千円 健康診査 48,239千円															
	人件費		10.0	人	7,381	千円	10.0	人	7,381	千円	10.3	人	7,240	千円	10.3	人	7,443	千円
	総事業費		141,343	千円	137,241	千円	136,388	千円	130,477	千円								
財源内訳	国県支出金		20,586	千円	19,412	千円	20,053	千円	15,985	千円								
	地方債			千円		千円		千円		千円								
	その他特財			千円		千円		千円		千円								
	その他特財の内容																	
	一般財源		120,757	千円	117,829	千円	116,335	千円	114,492	千円								
財源合計		141,343	千円	137,241	千円	136,388	千円	130,477	千円									

平成27年度高松市公開事業評価 事業シート					
事務事業名	健康づくり推進事業			事業開始年度	平成20年度
対象数	【対象指標名】	単位	H26年度	H25年度	H24年度
	40歳以上の市民	人	250,640	247,347	240,877
活動実績	【活動指標名】	単位	H26年度	H25年度	H24年度
	健康教室の開催回数	回	214	258	348
	健康教室の参加人数	人	10,042	11,282	13,921
	健康相談の実施回数	回	178	148	156
	健康相談の参加人数	人	5,384	4,518	6,173
成果目標 (目標設定理由等)	壮年期(働き盛り)の死亡の減少、健康寿命の延伸、生活の質の向上が図られる。				
成果 (目標達成状況)	【成果指標名】	単位	H26年度	H25年度	H24年度
	がん検診受診率	%	24.9	21.8	22.0
	成人歯科健康診査受診率	%	18.2	14.7	13.3
	特定健康診査の結果、ヘモグロビンA1cが8.4%以上の者の割合(高血糖状態で合併症を発症しやすい者の割合)	%	0.7	0.8	0.9
事業の実施状況と課題・今後の事業方針	<p>《実施状況》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病、高血圧、高脂血症、脳卒中、がん、骨粗しょう症・膝痛・腰痛・歯周病など疾病の予防のための健康教室を保健センター及び各地区コミュニティセンターなどで実施している。 ・教室対象者は、広報等で周知したり、保健委員会組織を通じて参加を呼び掛けている。 ・教室講師は主に、委託契約した高松市医師会及び高松市歯科医師会の医師・歯科医師及び、保健師・理学療法士・栄養士・歯科衛生士などの専門職員である。 ・市政ふれあい出前講座として、保健師・理学療法士・栄養士・歯科衛生士などの専門職員が疾病予防や健康づくりについての講話や相談を行う。 ・離島・過疎地・高齢者の集まり・各地区の文化祭などで、保健師・理学療法士・栄養士・歯科衛生士などの専門職員が健康相談を実施している。 ・肝炎ウイルスや歯科健診を個人通知にて案内し、医療機関で実施している。 ・医療保険未加入者に個人通知にて案内し、医療機関で検診を実施し、必要時、保健指導を行う。 <p>《課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康教室は、壮年期世代の参加者数の伸び悩みや教室開催場所の固定化が見られる。 ・健康相談は、イベント以外では、参加者の高齢化と固定化のため、年々減少している。 ・地域の医療環境やマスコミ・インターネットでの医療情報量などの変化に伴い、需要が減っている内容もある。 <p>《今後の事業方針》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い講師を選択できる体制とし、魅力ある教室展開を行う。 ・今後整備される総合センター毎に、健康都市推進ビジョンの目標達成に向けた系統だった健康教室・健康相談を実施する。 ・コトデンビル施設を活用し、土日開設するなど、これまで参加しにくかった住民にも参加しやすくする。 ・医療保険未加入者の健診受診率の増加に向けて、啓発を行う。 				
住民意向分析	健康都市推進ビジョン 市民意識調査において、学んでみたい健康づくりに関する事柄として、「ところや健康やストレスに関すること」「たばこの害にかんすること」「アルコールの害に関すること」があげられている。健康相談時、健康づくりのための望ましい食生活、食習慣についての質問は多く有り関心は高いと考えられる。				
類似都市の状況	いずれの都市も、同様の事業を実施している。ただし、方法、期間、案内方法などは都市毎に異なる。				
備考	健康増進法の概要 (目的) 国民の健康増進の総合的な推進の関し基本的な事項を定めるとともに、国民の健康増進を図るための措置を講じ、国民保健の向上を図る。				

健康づくり推進事業

高松市健康都市推進ビジョン

本計画の基本方針は、健康を支え、守るための社会環境を整備を通じて、生活習慣の改善、生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底、ライフステージに応じた健康づくりの推進を図り、健康寿命の延伸と生活の質の向上を達成することにより、基本理念に掲げる社会の実現を目指すものである。



健康づくり推進事業実施状況

1 健康教育

土日含む 随時開催：主に午後
コミュニティセンター、保健センターなど

(1) 【健康教室】

	回数(回)	人員(人)
H26年度	144	6,288

(2) 【歯科健康教室】

土日含む 随時開催：主に午後
コミュニティセンター、保健センターなど

	回数(回)	人員(人)
H26年度	70	3,754

※ロコモティブシンドローム・・・筋肉、関節、骨などの運動器の障害のために「立つ」「歩く」といった移動機能の低下をきたした状態

【健康教室のテーマ例】

- ・生活習慣病予備軍の運動教室
- ・肺がんについて学ぼう
- ・がん検診啓発
- ・骨粗しょう症予防の食事と運動
- ・正しい姿勢と歩き方教室
- ※ロコモティブシンドロームについて



健康づくり推進事業

2 健康相談

土日含む 随時開催：午前・午後
コミュニティセンター、保健センターなど

(1) 【健康相談】

	回数(回)	人員(人)
H26年度	131	4,726

(2) 【歯科健康相談】

土日含む 随時開催：午前・午後
コミュニティセンター、保健センターなど

	回数(回)	人員(人)
H26年度	23	165



(3) 【おとなのための歯科相談室】 毎月第4木曜日 13:00~15:00 桜町保健センター

	回数(回)	人員(人)	異常なし(人)	助言指導(人)	受診勧奨(人)
H26年度	12	54	2	24	28

(4) 【骨粗しょう症予防教室】 毎月第4木曜日 13:00~14:00 桜町保健センター

	回数(回)	人員(人)	40歳未満(人)	40歳-65歳未満(人)	65歳以上(人)
H26年度	12	439	12	134	293

(5) 【健康手帳】 7月に40歳に発送

	対象人員(人)
H26年度	7,413



3 健康診査

(1) 【肝炎ウイルス検診】 7月~10月医療機関で受診

	受診人員(人)	C型肝炎ウイルス検査(人)		B型肝炎ウイルス検査(人)	
		感染している可能性が高い	感染していない可能性が高い	陽性	陰性
H26年度	1,584	7	1,577	10	1,574

(2) 【健康診査】 7月~10月医療機関で受診

	対象人数(人)	受診人員(人)	受診率(%)	指導区分(人)					
				異常認めず	要観察	要指導	治療中	要医療	不明
H26年度	4,279	779	18.2	65	129	67	438	79	1

(3) 【特定保健指導】 12月~翌年8月末(6か月間支援) 保健センターなどで実施

	積極的支援			動機付け支援			合計		
	対象人数(人)	利用者数(人)	利用率(%)	対象人数(人)	利用者数(人)	利用率(%)	対象人数(人)	利用者数(人)	利用率(%)
H26年度	41	7	17.1	28	4	14.3	69	11	15.9

(4) 【成人歯科健康診査】 7月~翌年2月末まで歯科医療機関で実施

	対象人数(人)	受診者員(人)	受診率(%)	指導区分(人)		
				異常なし	要指導	要指導・要精検
H26年度	34,510	6,269	18.2	369	231	5,669